

滋賀県病院協会報



発行所
一般
社団法人
滋賀県病院協会
大津市京町四丁目3-28
(滋賀県厚生会館)
TEL 077-525-7525
<http://sbk.co-site.jp/>
発行人 会長 石川 浩三

新年のご挨拶



新年明けましておめで
とつぐざいます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素より当協会の運営
にご理解とご協力を賜り
厚く感謝申し上げます。

昨年は、2040年に
 向けて「地域医療構想の
 実現」に「医師偏在対策」
 と「医療従事者の働き方
 改革」を合わせた三位一
 体で進めていく骨太方針
 2019が政府から打ち
 出されました。それに関
 連して、厚労省からは、
 地域医療構想の中で「担っ

機能や機能別病床数の再
検証を要請する公立・公
的病院が公表されました

公表に関しては、地域により公立・公的医療機関の役割が異なるにもか

かわらず、全国一律の基準の基で再編統合を推進することの不適切さ、評

整会議に持ち込んでも話はまとまりません。

次に、病院機能の評価基準の問題に対しては、しっかりと自院の地域における立ち位置（貢献度と役割）を明らかにし、それが地域に理解されることこそが大切だと思います。

自院の医療機能が明らかに
なれば、その機能を
遂行するために必要な医
師確保となりますが、こ
れが「言うは易し、行う
は難し」です。しっかりと
と方策を練り地道な努力

が必要となります。この点は、県行政も力を入れて取り組んでいるところでありますので、当協会とも連携していきたいと思っております。

医師が確保できなければ、働き方改革の対応計画も進められません。とは言え2024年度以降に適用される医師の時間

国の医療環境は世界でも
トップクラスです。更に
医学や科学の進歩により
正確な診断・治療がなさ

私の主張

新年明けましておめで
とございます。本年も
よろしくお願いいたし
ます。

医療は提供される時代の社会情勢や人口動態、国によって大きく異なっています。日本の人口は明治の初めには4000



れ、AIDSや癌のみならず、生殖医療までもコントロールができる時代となりました。しかし一

「次世代の医療に向けて」

公益財団法人 豊郷病院 病院長 横田 徹

人間の寿命は伸びたといふものの、決してわれわれの身体構造、精神の成り立ちが変わったわけ

具体化する道具として使われてはいないでしょう。か。合理性の追求のみでは、真の豊かさは得られ

なければいけません。人の心は必ずしも論理的ではありません。医療を提供する側と、医療を受

年頭挨撈



滋賀県知事

三日月大造

新年あけましておめで
とつぐぎいます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、本県の保健・医療・福祉行政に格別の御支援と御協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。昨年は、令和という新

しい時代が始まり、本県

備えの大切さを痛感いたしました。昨年11月末に本県で実施いたしました近畿地方DMATプロック訓練では多くの病院に参加協力をいただいたところですが、今後も引き続き、災害対策に万全を期し、災害医療体制の強化を図ってまいりますので、皆様の格別の御協力をお願いいたします。

活躍できる社会づくりを進めていく上でも大変重要ですので、関係団体の皆様とともに丁寧に議論を交わしながら、施策を展開してまいりたいと考えております。

また、本年は東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される中で、本県にとりまして、も、連続テレビ小説「ス

もが幸々を実感できる
持続可能な共生社会を事
現するために、世界と手
来をしっかりと言握えて
取り組んでまいりたいと
思います。

本年も県民の皆様の一
いや思いに寄り添いなが
ら、精一杯取り組んでま
いますので、一層の理
理解、お力添えをお願い
申し上げます。

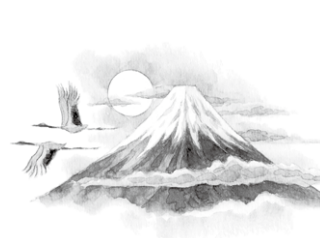
結びに、本年が皆様にとり、幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げます。今年もがんばりましょう！共に……。

信できる、またない
チャンスの年です。

昨年、の取組をさらに発展させ、「健康しが」をもう一段高め、私たちの「幸せ」をつくるとともに、気候変動や水環境など世界的な課題に対して、先人たちの教えや歴

ません。統制を取るための規則も重要ですが、財源の確保も不可欠です。先進医療の拡充や高齢化に伴う医療の膨張が経済に与える影響は多大なもので

ありようを、未来の世代
 に問題を先送りするので
 はなく、われわれ一人一
 人が真剣に考えなければ
 いけない時がきているよ
 うに思います。



年頭に思う

(順不同)



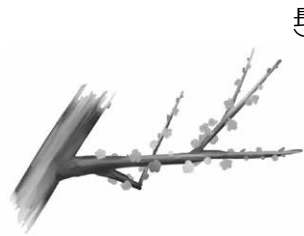
副会長
清水 和也

皆様明けましておめでと
うございませう。医療の
分野ではAIの活用が進
もうとしていますが、私
の趣味である囲碁と将棋
がその先駆けとなったよ
うな気がします。私の身
近に暮敵がいなくても
あって、「天頂の囲碁」
と言う最強の囲碁ソフト
を購入してみました。世
界のトッププロを散々に



副会長
宮下 浩明

新年明けましておめで
とございませう。昨年は
当病院協会事業に、会員
病院の皆様方には多大な
ご協力をいただき、誠に
ありがとございませう。
さて、今年には地域医
療構想実現に向けてアク
セルがかかる年でありま
す。他府県を見ますと国
が笛吹けど踊らず、あま
り進んでいるとは言えな
い状況の中、「再編統合
の特に議論が必要な病
院」として県内の5病院
が名指しされましたが、
各病院は様々な対応をす



理事
由利 和雄

明けましておめでと
うございませう。滋賀八幡病
院は、東近江圏域唯一の
精神科専門病院として昭
和27年に開設され、本年
7月16日に創立68年を迎
えます。また、平成25年
4月1日より、公益財団



理事
石田 展弥

令和二年あけましてお
めでとございませう。会
員病院の皆様におかれま
しては、ご健勝のことご
お慶び申し上げます。昨
年秋から、医療界の風が、
冷気の逆風から生臭い風
にかわってきました。今
年の風はどんな温度の、



理事
金子 隆昭

新年あけましておめで
とございませう。令和の
時代となり、最初の新年
となりますが、会員の皆
様には健やかな新年をお
迎えになられたこととお
慶び申し上げます。
医師の働き方改革が始
まりました。医師の働き
方改革には日当直や研鑽
業務軽減のためのタスク
シフティング/シェアリ
ングなど、実に多くの課



理事
青木 治亮

筆記体、一考
明けましておめでと
うございませう。
昨年、愚息との会話の
中で、今の学校では英語
の時間に筆記体を教える
いと聞いた。時間的な都
合と英語圏では使わな
いからという。前者につ
いては言わずもがな、後
者についても一理ある。
しかし、帳面に描く独特
の指先リズムで英単語を
覚えた御学兄は少なく
ないだろう。何より昭和
の中学生である小生、担任
が白墨で描く筆記体に
カッコ良さを覚えた記憶
がある。また、かつて手
書きカルテであった時
代、多くの医師は筆記体
で記入していた。電子カ
ルテが主流となり出番は
減ったが、未だ多くの英



(水口病院長)

師の時間外勤務時間の短
縮など、とても達成でき
ると思いませんか。医師
が一名という診療科もあ
り、医師数が少ない診療
科では地域医療に影響を
与えずに働き方改革を進
めることは不可能です。
厚労省は医師の働き方改
革、医師の偏在、地域医
療構想を三位一体の改革
として同時に進めると
言っていますが、まず医
師の偏在をなくし、地方
でも医師数を確保できる
ようにしなければ医師の
働き方改革は進みません。
この夏、厚労省からは
日当直と研鑽の位置づけ

に対して、通知が出され
ました。また、都道府県
には労働時間等説明会を
的なる方策がございました
らお互いに情報共有をし
合い、滋賀県全体で対応
していくことはできない
ものでしょうか。働き方
改革は一病院で取り組ん
でいくにはあまりに負担
が大きき改革だと思われ
ます。オール滋賀で取り
組めましたら、働き方改
革は大きく前進するのだ
はないかと思われませう。
(彦根市立病院事業管理
者兼院長)



理事
平野 正満

あけましておめでと
うございませう。私にと
って2019年は千支が亥
年であったように、猪突
猛进に駆け抜けた1年で
ありました。当院では
2018年4月に病院機
能再編プロジェクトがス
タートし、2019年に
かけ多岐にわたる事業が
計画、実施されました。
医師の環境整備として
120名を収容できる医
局拡張工事、快適性を向
上させ安心して分娩でき
る産科病棟の全面改築
さらに救急医療体制の強
化としてSCU内血管撮
影装置や救急対応MRI
を新設しました。病院の
機能充実に向け、7月に



理事
高橋 雅士

新年あけましておめで
とございませう。
最近の厚労省の方向性
は、地域医療構想一本か
らこれに働き方改革と医
師偏在是正を加え、これ
ら三つの難題を同時に解
決するというものに変化
しつつあります。今年の
診療報酬改定では早速、
常勤や専従の縛りを緩和
し、働き方改革を後押し
するのではないかと
予想が出ています。しか
し、医療の働き方改革は、
同じ厚労省内の労働行政
が医療の特殊性を十分理
解しなければ頓挫しま
す。医師偏在に際しても、
県行政と大学、医師会が
一体となった調整組織が
なければ絵に描いた餅に
なります。本丸の地域医
療構想は、現在では公立
病院が槍玉に挙がってい
ますが、国が今後私立病
院の病床にもメスを入れ
てくるのは必至です。
しかし、経営母体の違
い、補助金の有無、など
極めて多種多様な病院の
集合で成り立つ日本の病

床群の再編を、ボトムアップが主体の地元の話し合い中心で進めている、という手法自体に本

来無理があり、地域医療構想の進展を遅らせているのではないかと個人的には思っています。いず

れにしても、病院経営は今年も過酷になりそうです。

(友仁山崎病院長)



理事
三木 恒治

あけましておめでとうございます。令和2年を迎えるにあたり一言新年のご挨拶を申し上げます。今年は6月26〜27日に、第22回日本医療マネジメント学会学術総会会長として、京都岡崎の

「ROOMシアター京都」と「みやこめっせ」で開催させていただきます。約5000人の参加者を見込んでおり、会場の都合で滋賀県ではなく京都での開催となりました。テーマは、病院ビッグ



理事
松末 吉隆

2024年から医師の働き方改革が法制化されるため、各病院は可能なところから着実に施策を行い始めています。医師充足感のない中、滋賀県は医師過剰県と分類され、医師の適正配置が医療政策の中で進められようとしています。欧米に比べ病床数が多く100床あたりの医師数が1/3

3〜1/6程度の現状で、医学部定員が近年では初めて減少に転じています。医師の働き方改革は、医師一人あたりの担当病床数の減少になるのに加えて、確実に予想される人口減少社会が病床数の削減に拍車をかける時代が近づいています。このような中で、医師が良好なQOLを保ち活き



理事
神田 雄史

あけましておめでとうございます。今年は医師の働き改革、地域医療構想推進、診療報酬改定と対応すべき課題が山積み

です。働き方改革は昨年からの取り組み始めましたが、出退勤システムを今年中に導入することを決められただけでした。



理事
鈴木 聡

新年あけましておめでとうございます。今年はオリンピックイヤーで日本全体が盛り上がりと思

います。東京オリンピックといえは前回の小学校二年の時の五輪が思い出されます。東洋の魔女とか円谷幸吉が有名ですが小学生の私の口癖になっていたのは「岡部がんばれ、岡部がんばれ。二位はどうでもいい。銅メダル獲得できるか。」というフレーズです。水



理事
井上 修平

明けましておめでとうございます。滋賀県病院協会は県内57病院からなる団体であり年々滋賀医大卒の院長が増えてきました。協会が取り組む事業も多岐にわたり滋賀県内の医療従事者の育成や人材確保に貢献しており私も理事として頑張ろう

と想います。今年は診療報酬の改定年度であり実質のマイナス改定になります。今年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。また今年こそ大災害が少ない年になることを祈っております。

今年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。また今年こそ大災害が少ない年になることを祈っております。

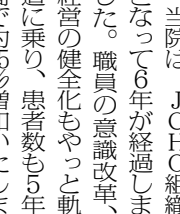
(市立長浜病院長)



理事
来見 良誠

新年あけましておめでとうございます。地域医療構想、働き方改革、経営健全化はすべての医療機関に共通の重要課題となっています。人口減少と高齢化に加え、複数疾患の罹患者が多く、単独の診療科では対応困難な状況下で、すべての疾患に対して専門診療を希望する患者さん

診療報酬の改定は、これから続く医療保険・介護保険の制度も猫の目のように切り切るかを、それぞれの病院で工夫されていることと思います。当院は、JCHO組織となつて6年が経過しました。職員の意識改革、経営の健全化もやっと軌道に乗り、患者数も5年間で約35%増加いたしました。これまでは、専門



理事
楠井 隆

このところランニングもひとつのブームとなっている。私は自宅から近いところを休日の午前中に走ることが多いが、ランニング、ウォーキング、散歩士夫など多くの方々がそれぞれのペースで楽しんでる姿に出くわす。中には麻痺があるのか杖をついて少し不自由そうなる方々も

かななかったかもしれないが、今年がオリンピックと並んでパラリンピックの年である。人間誰しも年齢を重ねると何かと不自由を感じるようになるのであるから、そうなのでもせうに元気に楽しんで世の中になつてあるよう心強く感じる次第である。今年一年また頑張ろう。

かななかったかもしれないが、今年がオリンピックと並んでパラリンピックの年である。人間誰しも年齢を重ねると何かと不自由を感じるようになるのであるから、そうなのでもせうに元気に楽しんで世の中になつてあるよう心強く感じる次第である。今年一年また頑張ろう。

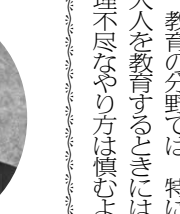
(長浜赤十字病院長)



理事
松岡 俊樹

新年あけましておめでとうございます。昨年は、令和の始まりと日本ラグビーチームの快進撃に沸いた一年でした。厳しい状況に置かれている病院も、ワンチームとなり、全体の最適化を目指していければと思います。われわれはずっと以前から、チーム医療を掲げ、実践してきたわけですが、やはりチーム一丸となつて優勝を目指す意気込みが大切なだと、改めて思い知らされたところです。教育の分野では、特に大人を教育するときには、理不尽なやり方は慎むよ

う、具体的に言えば、目的や意味を明確に理解してもらいながら無理なく進めていくことが必要と言われます。一方で、職人さんなどの間では、理不尽とも思える教育がなされることも多いようで、その教育のストーリーがドラマとなり、われわれはそれのお話に感動してしまったりします。ドラマの中の医療の世界には、職人気質と呼べるような「絶対に失敗しない」人もいます。現実には、前に進んでいる患者さんは、病気という理不尽なもの



理事
一山 智

新年あけましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。激動の昭和から平成へと移行し、さらに新しい令和の時代を迎え、わが国は次のステージに進んでいくことになります。平成の

30年間は戦争こそなかったものの、政治・経済・社会の価値観が大きく変化した時代であったと思ひます。情報伝達の仕組みが一挙に巨大化し、個人が自由に自分の意見を瞬時に世界に向けて発信できるようになったこと



理事
若林 直樹

明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年を迎えることとお慶

び申し上げます。さて、昨年の新語・流行語大賞の年間大賞はワールドカップベスト8進出という輝かしい活躍で、列島を沸かした日本ラグビーチームのチーム

▼四面に続く

▼三面から続く
スローガンである「ON
E TEAM」でした。
ラグビーの魅力・特徴を
示す表現に「ワンフォー
オール、オールフォーワ
ン」という言葉もありま
す。強い組織とは、自律
したメンバーが、それぞ
れの個性や強みを活かし
時には弱みを補い合いな
がら、しっかりとスクラ
ムを組んで、組織理念や
一つの大きな目標を具現
化できる組織だとあらた
めて再認識しました。
病院、地域医療も例外
ではなく、医療を取り巻
くいろいろな困難に立ち
向かって行く上で大切な
ことかと思えます。
本年も何卒宜しくお願
い申し上げます。
(市立大津市民病院長)



監事
仲 成 幸

新年明けましておめで
とございませう。皆様
のご健康とご多幸を心より
お祈り申し上げます。今
年の十二支は一番目の
「子」です。新しい物事
が始まり陽気が動き出す
相ということ、わくわ
くするような事が沢山あ
る良い一年になることを
願っております。さて、
医療ではどこに住んでい
ても適切な医療や介護を
安心して受けられるよう
地域包括ケアシステムの
構築と医療機能の分化・



監事
五月 女 隆 男

あけましておめでとう
ございます。昨年は新天
皇が即位され、令和の時
代が幕を開けましたが、
自然災害の恐ろしさをま
ざまと見せつけられた
一年でもありました。災
害地域の病院や高齢者施

「第17回医療機能評価フォーラム」に参加して



公立甲賀病院 総務課
主任 池本 有希

去る令和元年10月18日

(金)ピアザ淡海 滋賀県
立県民交流センターにお
いて、「第17回医療機能
評価フォーラム」が開催
されました。毎年、本
フォーラムは満員となる
ため、受審を直前に控え
た年度は、自院の参加希
望者の席を確保すべく、
病院協会事務局の方々に
ご迷惑をおかけしながら
申込・参加をさせて頂い
ております。本審査を3
か月後に控えた当院から
は、院長、副院長2名の
他、所属長として初めて
機能評価を迎える管理職
を中心に、総勢17名で参
加させて頂きました。今
回は定員200名のところ
ろ、空席はわずか数席と
アナウンスがあり、県内
病院の機能評価への取り
組み姿勢や質向上への意
欲が伺えました。
中では疑問を質問させ
て頂きました。また当院
の院長からは受審病院の
動向について、倫理・安
全・災害担当副院長から
は継続的な取り組みの効
果的なアピール方法につ
いて質問させて頂きまし
た。他病院からは、院内
での倫理的判断や各種庶
待のマニュアル整備につ
いての質問がありました。
また司会の金子理事から
は、医療スタッフの能力
開発や患者さんから職員
へのハラスメント対応に
関する質問がありました。
他院の質問やそれに対す
る回答を伺う中で、「本
院のマニュアルは対応し
ていたかな。」等の気づ
きがあり、県内の様々な
立場の病院が一同に会し
て参加する意義を感じま
した。
今年度、本院では適時
調査が実施されたことや、
創立80周年を迎えたこと
から院内行事が多くあり
思うように準備が進んで
いませんでした。本審査
に間に合うかヒヤヒヤし
ながら準備を進めており
ますが、今回のフォーラ
ムで得た情報を活用して
質改善を進め、本院にお
ける機能評価受審プロ
ジェクトを成功させたい
と思います。

診療報酬改定により高
齢者の自己負担割合が増
加する予定とのこと。高
齢者の割合が多い当院の
運営に影響がでないよう
にと念じております。そ
の分、高齢者の在宅医療
などを手厚くしていただ
きたいなど、個人的所感
は手に余るほどあります
が、本年が皆様にとって
よい一年となりますよう
に願っております。
(ヴォーリス記念病院長)

令和元年度 事務長研修会に参加して



長浜赤十字病院
事務部長
増田 進

明けましておめでとう
ございます。昨年10月31
日(木)に標記研修会が「病
院における働き方改革の
最新動向と進めるための
3つのポイント」と題し
て、コラボしが21で実施
されました。講師は慶応
義塾大学特任教授の裴
英洙先生で奈良県出身
の呼吸器外科医師であり
ます。

これに乗り遅れることは
許されず、今後の病院経
営の成否を左右する最重
要課題であることから期
待を持って参加させてい
ただきました。
講義はまず、1医療機
関の働き方改革の最新動
向から始まりました。背
景に医師の過重労働・過
労死の増加、ブラック化
する医療現場、医師不足・
偏在で働きづらさを得ない、
患者が来れば対応しなけ
ればならない(応召義務)
を上げられました。1週
間の労働時間が週60時間
を越える雇用者の割合で
は、全体で14%に対し、
医師は41・8%と最も高
い割合でありました。
時間外労働の理由では、
緊急対応が64・8%、手
術や外来対応等の延長
57・7%、記録・報告書
作成や書類の整理55・
6%、会議・勉強会・研
修会等への参加42・5%
……と続きます。

医師の時間外労働規制
について、2024年4
月よりA・診療従事勤務医
に(年960時間)、B・
地域医療確保特定特別水
準(年1,860時間)の
3つに分かれます。

2働き方改革の具体例
です。労働時間短縮に向
けた取り組みとして【意
識改革・啓発】①管理者
マネジメント研修、②患
者への医師の働き方改革
に関する説明、③働き方
改革について医師の意見
を聞く仕組み、「タスク
シフト」④初診時の予診、
⑤検査手順の説明や入院
の説明、⑥薬の説明や服
薬の指導、⑦静脈注射、
⑧診断書等の代行入力。
【医師業務の見直し】①
平日の外来業務の見直し、
②夜間休日の外来業務の
見直し、③主治医制の見
直し、④勤務時間内の病
状説明、⑤委員会・会議
の見直しでした。

3改革推進のための3
つのポイント、①改革は
因数分解で考える、②改
革を進める管理職の能力
問題、そもそも管理職の
レベルの現状把握が出来
ているか? 自院の管理
職レベルはどれくらい
か?など、核心をついた
解説をされました。非
常に難題なテーマですが、
達成に向け各病院にとっ
て一つの道標になったと
思います。



講師：裴 英洙 先生



令和元年度 退院支援機能強化事業全体研修会の学び

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター
地域医療連携室 看護師長 長岡 紀江

厚生労働省においては、
2025年を目途に、高
齢者の尊厳の保持と自立
生活の支援の目的のもと
で、可能な限り住み慣れ
た地域で、自分らしい暮
らしを人生の最期まで続
けることができるよう、
地域の包括的な支援・
サービス提供体制(地域
包括ケアシステム)の構
築を推進されており、そ
こには本人の選択と本
人・家族の心構えが基本
にあります。今年度の退
院支援強化事業全体研修

会は11月6日(木)医療研修
施設ニプロで開催され、
参加者は総勢112名で、
その多くが看護師でした。
今回の研修テーマは「本
人と家族の思いをつなぐ
入退院支援」フィード
バックカンファレンスか
ら学ぶ」とし、訪問看護
ステーションゆげ 管理
者 雨森千恵美氏より
「はじめようフィード
バックカンファレンスで
看看連携」と題して、東
近江圏域で行われている
フィードバックカンファ

レンスの実際と効果につ
いて事例を交えながらお
話頂きました。
フィードバックカン
ファレンスとは、病院側
と在宅側の両方から実施
した退院支援・調整など
を振り返り、共に「看護」
を深めるため経過を知り、
その意味を振り返る手法
であると教えていただき
ました。効果としては1.
次に繋がる、より良い退
院支援・看護実践ができ
る。2. 療養者と家族が
安心して在宅療養に移行

できる。3. 病院看護と
訪問看護などお互いの立
場を理解し協働できる。
とありました。

事例はがん末期の方で
在宅で過ごすのか、病院
で最期を迎えるのかに対
して支援した内容でした。
本人の自宅へ帰りたい気
持ちと無理ではないだろ
うかという本人・家族の
揺れる気持ちに寄り添い
ながら在宅療養に繋がっ
た事例でした。グループ
ワークでは、事例の中で
の関わりについて良かった
点や課題について、日常
業務の中で「意思決定支
援」をどうしているかな
ど、今回のテーマである
本人・家族の思いをつな
ぐということを念頭に話



グループワーク



講師：雨森千恵美 氏



講師：江川克哉 先生



講師：長尾能雅 先生



講演の第一部は、協会医療安全担当理事の横田徹先生の座長のもと、長浜赤十字病院副院長・医療安全推進室長の江川克哉先生より、「当院にお

ける医療安全活動」と題して、特に多職種で行う転倒・転落防止対策にス

ポットを当てて、ご講演いただきました。ご講演では、2011年の医療事故報告書の分析に始ま



医療法人社団仁生会
甲南病院
院長補佐 山本 寛

令和元年度 医療安全対策研修 会に参加して

ムとの連携を図り支援することが重要などの意見がでました。今回の事例は、在宅看取りまでの経過についての事例であり、私自身も在宅看取りを支援した経験から本人・家族への支援を思い返し振り返る機会となりました。

在宅看取りを行う際には、在宅チームとの連携がな

かな？などお互いの疑問をフィードバックカン

（生活者）を支えていくための「意思決定支援」

以上の目標が達成されないなど、医療安全活動の困難さも率直にお話いただきました。医療安全は1日してならずとはい

からなるループの概念的な説明がありました。そ

研修医及び若手医師のための フォーラムに参加して



近江八幡市立総合医療センター
1年目研修医
野田 凌平

さる12月5日ピアザ淡海で滋賀県病院協会（第11回）主催の研修医及び若手医師のためのフォーラムが開催されました。

前半セッションの「臨床研修をうまく乗り切るための若手医師が語る経験談」では、二人の若手の先生方にお話を伺え

の準備についても具体的に知ることができました。昨年春から仕事が始まり、研修医として学ばなければならぬことの多さや

会はありませんので、新鮮で貴重なお話を聞けてよかったと感じています。後半セッションの「医師として知っておくべき医療統計学の入門編」では、滋賀医科大学医学部



セッションの講師：浅井和暉先生と西本光希先生



講師：中川義久 先生



会場の風景

ご教示くださり、統計の情報を見たまま受け取ってはいけないという教訓を得ました。特に循環器内科をはじめとしたデバ

時間が過ぎたと感じています。ご講演賜りました諸先生方ならびにこのような機会を設けて頂きました滋賀県病院協会の皆様方に心より感謝申し上げます。



市立長浜病院 医事課
診療情報管理士
廣瀬 朋子

令和元年度 第3回医事研究会に参加して ～適正な保険診療のためにできること～

令和元年11月14日（木）市立長浜病院におきまして滋賀県病院協会主催の第3回医事研究会が開催されました。41病院から84名の方にご参加いただき

指導の指摘事項から見た日常診療での留意点」ということで、滋賀県医師会の前保険担当理事を務めておられました中村真人先生から、保険診療上の留意事項についてご講演いただきました。数々のご経験に基づくお話のなかで、指導や監査の対象となる医療機関の選別がレセプト1枚あたりの平均点数の高い医療機関である場合や保険者、審

査会、患者さんからの情報提供により指導が必要と認められた場合等であることを知りました。医事課職員として診療報酬請求の精度を高め、根拠ある診療録の作成に対し医師と連携を図っていくことが重要であると改めて感じました。診療行為や指導を行っていたとしても実施した記録や評価が無ければ行ったことにならず、これが不当請求に当たるということを病院職員全員が理解し、「故意でなくとも過失として認められれば、健康保険法上の処分の対象となる」ということを

高い診療や医療の質の向上につながるのではないかと改めて考えさせられました。

指導や監査と聞くと医療機関は「何を指摘されるのか」ととても敏感になります。そして、指導や監査の結果、返還金が発生する事象となれば医療機関の収入に大きく影響を及ぼし、不正請求と判断されれば保険医療機関の取り消しに至る可能性もあります。そのような事態を回避するため講演の中で学ばせていただいたポイントとともに施設基準や診療報酬の知識を深め、監査や指導、適時調査等に備えることが病院経営において重要な取り組みであると感じました。



会場の風景

指導や監査と聞くと医療機関は「何を指摘されるのか」ととても敏感になります。そして、指導や監査の結果、返還金が発生する事象となれば医療機関の収入に大きく影響を及ぼし、不正請求と判断されれば保険医療機関の取り消しに至る可能性もあります。そのような事態を回避するため講演の中で学ばせていただいたポイントとともに施設基準や診療報酬の知識を深め、監査や指導、適時調査等に備えることが病院経営において重要な取り組みであると感じました。

今回の研修会に参加して、在宅チームとの連携がな

に参加させていただきましたが、多くの医療機関の方々と交流を図り情報収集できる場はありがたいもので、これからも積極的に参加できればと思います。



講師：中村真人 先生

令和元年度(第39回)
滋賀県病院大会のご案内

日時 令和2年2月2日(日)(受付開始 9:30)
会場 ピアザ淡海

滋賀県民交流センター2階 ピアザホール
大津市におの浜1丁目1-20

開会・開会の辞・あいさつ・表彰・来賓祝辞

特別講演(県民公開講座)

座長 一般社団法人滋賀県病院協会 副会長

宮下 浩明(近江八幡市立総合医療セン
ター事業管理者・院長)

演題 「新潟市民病院が取り組んでいる医師の働き
方改革」

講師 新潟市民病院 院長 片柳 憲雄 先生

新潟市民病院 院長 片柳 憲雄 先生

シンポジウム

「医師の働き方改革について」

座長 一般社団法人滋賀県病院協会 理事

神田 雄史(市立長浜病院)

基調講演

「医師の働き方改革」医師の健康と地域医療の両立
を目指して」

社会医療法人ベガサス馬場記念病院 理事長

馬場 武彦 先生

シンポジスト

①「働き方改革における本院の現状と課題について」

滋賀医科大学医学部附属病院 病院長

松本 吉隆 先生

感染制御ネットワークだより

感染対策もワンチームで

県内の病院、介護福祉施設、地域、行政の連携を強くして、一体感をもって感染対策を推進しましょう
滋賀医科大学医学部附属病院 感染制御部 感染管理認定看護師 竹村 美和

ラグビー日本代表チ
ームの活躍に多くの人が感
動した2019年、毎年
年末に発表される新語・
流行語大賞の年間大賞に
「One team」が選
ばれました。様々な背景
を持つ人達が一体感を
持って継続して取り組む
ことの大切さを教えてく
れたのが2019年ラグ
ビーワールドカップだっ

たのではないでしょう
か。感染対策も病院内では医
師、看護師、薬剤師、検
査技師などの多職種が
「ワンチーム」となって
感染対策上の課題に取り
組み解決するべく奮闘し
ています。病院の全職員
が「ワンチーム」で、ま
た病院、介護、在宅、保
健所など地域全体が「ワ
ンチーム」となって連携
しています。2019年度

- ②「医師の働き方改革にむけた当院のとりくみ」
大津赤十字病院 副院長 土井隆一郎 先生
- ③「地域医療を支える医師働き方改革」
医療法人社団昇会日野記念病院 院長 仲 成幸 先生
- ④「滋賀八幡病院における医師の勤務環境改善の取
組み」
公益財団法人青樹会滋賀八幡病院 院長 由利 和雄 先生

受章おめでとうございます

令和元年度の叙勲

瑞宝小綬章受章

令和元年11月3日



公益財団法人青樹会
滋賀八幡病院 院長
由利 和雄氏

令和元年度健やか親子21全国大会に
おける母子愛育会会長表彰

令和元年11月7日



高島市民病院
看護部長(助産師)
吉岡 千晴氏

令和元年度
院内感染防止対策研修会に
参加して

彦根中央病院 感染管理認定看護師 瀧上 義子

令和元年12月3日(火)コ
ラボしが21において滋賀
県病院協会・滋賀県感染
制御ネットワーク主催の
「院内感染防止対策研修
会」が開催されました。
この研修会は、「滋賀県
内における医療関連感染
に対して適正に対応する
為、研修会等を開催し、
指導助言、普及啓発を行
い、感染の予防・拡大の
防止に努めること。」を
目的として開催されてい
ます。研修会では、第一
線で感染対策に従事され
ている高名な先生方の
講演を企画されており、
毎年開催される講演を心
待ちにしております。
第一部は、大阪大学医
学部附属病院感染制御部

ました。ワンヘルスとは、
人の健康を守るためには
人だけに注目するのでは
なく、動物や環境のこと
にも目を配って取り組む
必要があるという概念で
す。抗菌薬は人だけでなく
畜産業、水産業、農業
など幅広い分野で用いら
れています。抗菌薬を使
うことによって感染症を
治療することができま
す。不適切な使用によ
って薬剤耐性菌が増えるこ
とが知られています。畜
産業では感染症の治療の
目的だけではなく、発育
促進を目的に用いられる

ことを思うと、興味深い
講演でした。
第二部は、浜松医療セ
ンター 副院長 兼 感染
症内科部長 兼 衛生管理
室長 矢野邦夫先生より、
「感染対策の重要ポイン
ト」CDCガイドライン
をテーマに、ご講演
して下さいました。CD
Cのガイドラインを熟知
されている先生だからこ
そ、環境サウンドで必要
な感染対策を瞬時に把握
することができると説明
された場面がありました。
感染対策を担う担当者
としての責任と、今こ
で起っているリスクを最
小にするこの重要性を
再確認し見直す機会とな
り、講演を参考に今後も
感染対策に熱い情熱を傾
けたいと改めて感じまし
た。講師の先生方、研究
会を企画してくださいま
した役員の皆様に深く感
謝申し上げます。



ことがあり、人への使用
量よりも家畜への使用量
が多い国もあります。抗
菌薬の使用によって、た
とえば家畜の排泄物に含
まれる抗菌薬などで環境
が汚染され、水や農作物
への影響も考えられます。
このようことから人へ
の抗菌薬の使用だけでな
く、畜産、水産、農業な
どの分野でもその使用に
ついて考える必要がある
というわけです。
薬剤耐性(AMR)は
世界的な問題となってお
り、日本でも2016年
に薬剤耐性対策アクション

- 病院協会今後の行事予定
- 1月21日(火) 医療安全対策窓口担当者研修会 (コラボしが21)
 - 1月22日(水) 第9回理事会
 - 1月30日(木) 院長・事務長合同研修会 (びわ湖大津プリンスホテル)
 - 2月2日(日) 看護部長部会研修会 (ピアザ淡海3階大会議室)
 - 2月12日(水) 令和元年度(第39回) 滋賀県病院大会 (ピアザホール)
 - 2月21日(金) 第10回理事会
 - 2月28日(金) 退院支援機能強化事業情報交換会
 - 3月8日(日) 第5回看護部長部会委員会
 - 3月10日(火) 近畿病院団体連合会第2回委員会 (於…兵庫)
 - 3月18日(水) 滋賀県地域医療フォーラム2020 (滋賀県臨床研修病院合同説明会、バスツアー)
 - 3月23日(月) 1日患者調査実施日(入院・外来)
 - 3月23日(月) 第11回理事会
 - 3月23日(月) 第4回医事研究会診療報酬改定説明会 (コラボしが21)



講師：森井大一 先生



講師：矢野邦夫 先生

